

第 I 章 大気汚染、燃料油販売実績等及び気象の概況

第1節 大気汚染の現状

1. 1 大気汚染の現状

大気汚染は、一般に工場、事業場の活動や自動車の走行により排出される汚染物質によって引き起こされる。

県下には、大気汚染の固定発生源として、ばい煙や粉塵が発生する恐れのある大気汚染防止法対象の工場、事業場が平成11年3月末現在で延べ3,772あり、同法の規制対象となっているばい煙発生施設数は10,218、特定粉じん発生施設数は99、一般粉じん発生施設数は1,939ある。

一方、主要な移動発生源である県内の自動車保有台数は、平成10年度（平成11年3月）末現在約379万9千台で、平成9年度同期と比べて約2万3千台増加している。

神奈川県下には、大気汚染の状況を常時把握すると共に、光化学スモッグなどの緊急時に対処するため、平成11年3月末現在、一般環境大気測定局57所、自動車排出ガス測定局30カ所、移動測定局1カ所、立体気象観測局が2カ所配置され、大気環境状況を常時監視している。

平成10年度の常時監視測定結果の概要は次の通りである。

まず、一般環境大気測定局における大気の汚染状況について、環境基準の適合状況と年平均値（一般環境大気測定局全局）の推移でみると、次の通りであった。

- ① 窒素酸化物のうち二酸化窒素は、57測定局中20測定局で環境基準に適合しておらず、年平均値は、ほぼ横ばいで推移しており、依然として厳しい状況である。また、一酸化窒素の年平均値は長期的にはほぼ横ばいの状況にある。
- ② 浮遊粒子状物質は、57測定局中39局で環境基準（長期的評価）に適合していない。一方、年平均値は、長期的にみて低下傾向にある。
- ③ 二酸化硫黄は、56測定局中全局で環境基準（長期的評価）に適合している。また、年平均値は、長期的にみて低濃度で推移している。
- ④ 一酸化炭素は、全測定局（10測定局）で環境基準（短期的評価及び長期的評価）に適合しており、年平均値は横ばいで推移している。
- ⑤ 光化学オキシダントは、56測定局の全てで環境基準に適合していない。昼間の日最高1時間値の年平均値は長期的にみて緩やかな上昇傾向にある。なお、光化学スモッグ注意報の発令日数は10日であり、被害の届出は7人であった。
- ⑥ 非メタン炭化水素の年平均値は、ここ数年は横ばいであるが、長期的にみて減少傾向にある。

次に、道路近傍に設置している自動車排出ガス測定局における汚染状況は次の通りであった。

- ① 窒素酸化物のうち、二酸化窒素は高濃度で推移しており、30測定局中24測定局で環境基準に適合していない。
- ② 浮遊粒子状物質についても、25測定局中22測定局で環境基準（長期的評価）に適合していない。
- ③ なお、一酸化炭素については長期的に低濃度で推移しており、全測定局（28測定局）で環境基準（短期的評価及び長期的評価）に適合している。

1. 2 環境基準とその適合評価方法

(1) 環境基準

環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準であって、環境基本法第16条で定めるものとしている。
 連続監視の対象となっている汚染物質の環境基準、又は、指針値は次の通りである。

項目・告示日	環境基準・指針	
二酸化窒素 (NO ₂) 昭和53年7月11日	基準	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM) 昭和47年1月11日	基準	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
二酸化硫黄 (SO ₂) 昭和48年5月16日	基準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素 (CO) 昭和45年2月20日	基準	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
光化学オキシダント (Ox) 昭和48年4月26日	基準	1時間値が0.06ppm以下であること。
非メタン炭化水素 (NMHC) 昭和51年8月13日※	指針	光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にある。

注：

1) 二酸化窒素 (NO₂) が幅をもって示されていることについて

汚染レベルに地域差があり、幅を持った環境基準の設定が窒素酸化物の着実な推進のために適切と判断されたためである。

① 1時間値の1日平均値が0.06ppmを超える地域にあつては、1時間値の1日平均値0.06ppmが達成されるよう努めるものとし、その達成期間は原則として7年以内とする。

② 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内にある地域にあつては、原則として、このゾーンにおいて、現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることもとならないように努めるものとする。

③ 地域の指定は、昭和54年8月7日付け環大企第310号環境庁大気保全局長通知で示されている。

2) 浮遊粒子状物質 (SPM) について

大気中に浮遊する粒子状物質であつて、その粒径が10μm (10⁻⁵m=10⁻³mm) 以下のものをいう。

※「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について」中央公害対策審議会答申。(S51. 8. 13)

また、連続監視の対象となっていない、有害大気汚染物質の環境基準は次の通りである。

項目・告示日	環境基準	
ベンゼン 平成9年2月4日	基準	年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。
トリクロロエチレン 平成9年2月4日	基準	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。
テトラクロロエチレン 平成9年2月4日	基準	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。
ダイオキシン類 平成11年2月27日	基準	年間平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。

(2) 環境基準適合評価方法

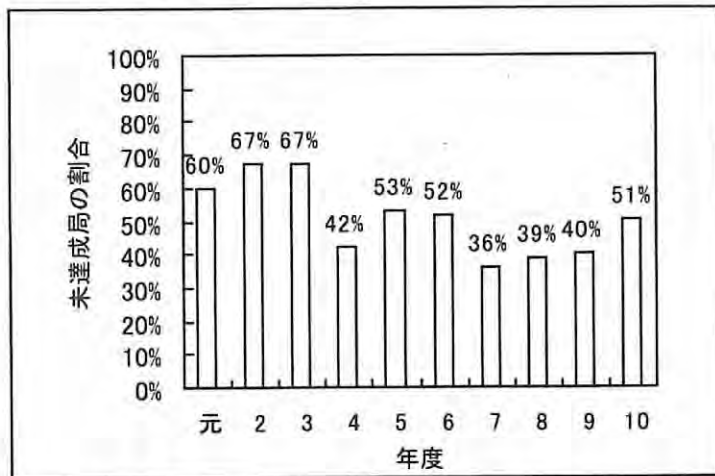
適合評価方法は、比較的濃度の高い短時間暴露と低濃度の長時間暴露による影響に基づいて定められている。

NO ₂	年間にわたる日平均値につき、測定値の低い方から98%に相当するものが0.06ppm以下であること。 注：県の目標値は、年平均値が0.02ppm以下であること。
SPM	<p><長期的評価> 年間にわたる日平均値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した日平均値が0.10mg/m³を超えず、かつ、年間を通じて日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しないこと。</p> <p><短期的評価> 日平均値がすべての有効測定日数で0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。</p>
SO ₂	<p><長期的評価> 年間にわたる日平均値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した日平均値が0.04ppmを超えず、かつ、年間を通じて日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。</p> <p><短期的評価> 日平均値がすべての有効測定日数で0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。</p>
CO	<p><長期的評価> 年間にわたる日平均値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した日平均値が10ppmを超えず、かつ、年間を通じて日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。</p> <p><短期的評価> 日平均値がすべての有効測定日数で10ppm以下であり、かつ、8時間平均値(*)が20ppm以下であること。</p> <p>*:24時-8時、8時-16時、16時-24時までの時間帯の平均値をいう。</p>
Ox	環境基準に同じ。 注：昼間の時間帯（5時から20時）

有効測定日数：1日20時間以上1時間値が測定された日数をいう。

1. 3 環境基準未達成率の推移

(1) 二酸化窒素 (NO₂)

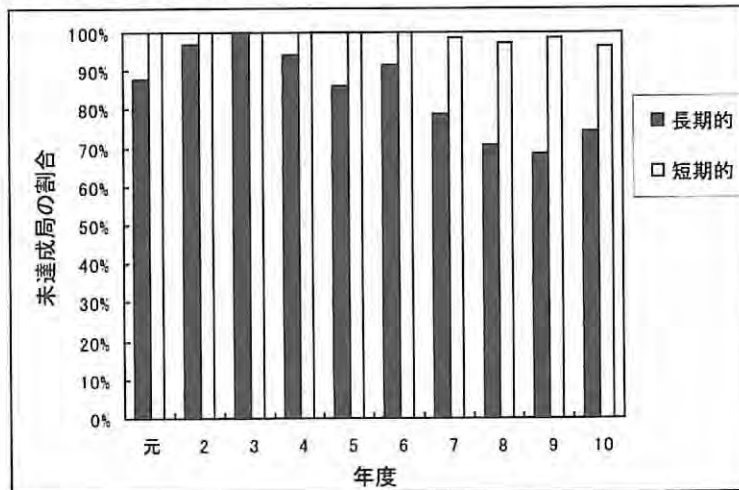


環境基準未達成局数は、全 87 局中 44 局であった。環境基準未達成率は、8 年度以降、上昇傾向を示している。

図は、下表より算出した、環境基準未達成測定局数の有効測定局数に対する割合を示す。移動測定局は除いている。

年 度	(未達成局数/測定局数)									
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一般環境大気測定局	24/49	29/51	29/51	14/52	21/52	18/52	10/54	12/54	15/55	20/57
自動車排出ガス測定局	22/28	24/28	24/28	19/26	21/27	24/29	20/29	20/29	19/30	24/30
全 局	46/77	53/79	53/79	33/78	42/79	42/81	30/83	32/83	34/85	44/87

(2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

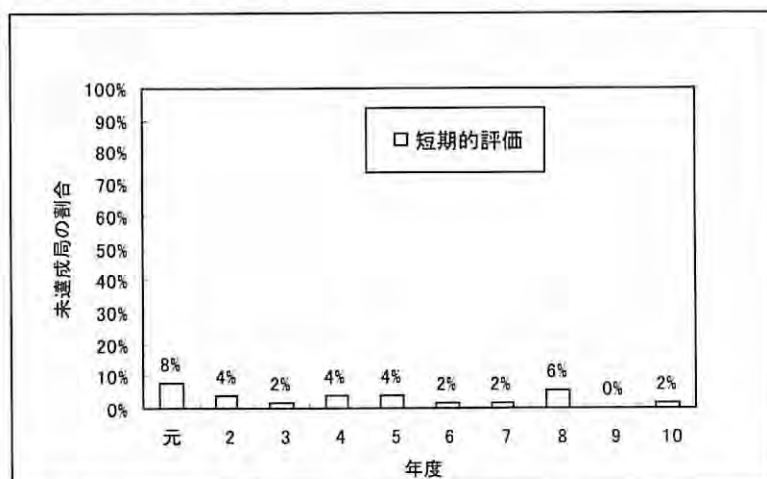


環境基準未達成局数は、短期的評価では、全 82 局中 79 局であり、未達成率は依然高い水準で推移している。

長期的評価では、全 82 局中 61 局で不適合となり、未達成率は 10 年度に上昇した。

図は、下表より算出した、環境基準未達成局数の有効測定局数に対する割合を示す。移動測定局は除いてある。

年 度		(未達成局数/測定局数)									
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一般環境大気測定局	長期	40/47	49/51	51/51	48/52	45/52	49/52	40/54	36/53	34/55	39/57
	短期	47/47	51/51	51/51	52/52	52/52	52/52	53/54	51/53	54/55	54/57
自動車排出ガス測定局	長期	17/18	18/18	19/19	19/19	16/19	17/20	19/21	17/22	20/24	22/25
	短期	18/18	18/18	19/19	19/19	19/19	20/20	21/21	22/22	24/24	25/29
全 局	長期	57/65	67/69	70/70	67/71	61/71	66/72	59/75	53/75	54/79	61/82
	短期	65/65	69/69	70/70	71/71	71/71	72/72	74/75	73/75	78/79	79/82

(3) 二酸化硫黄 (SO₂)

環境基準の短期的評価については、1局で環境基準に不適合であった。

一方、長期的評価の結果は、図には示さなかったが、SO₂濃度の低下とともに未達成局数も少なくなり、この10年間すべての測定局で適合している。

図は、下表より算出した、環境基準未達成局数（短期的評価のみ）の有効測定局数に対する割合を示す。移動測定局は除いている。

年度		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
未達成局数	長期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期	4	2	1	2	2	1	1	3	0	1
一般環境大気測定局数		49	51	51	52	52	52	54	54	55	56

注) 二酸化硫黄は、一般環境大気測定局のみである。

(4) 一酸化炭素 (CO)

表は、測定局数に対する環境基準未達成局数及びその割合を示す。移動測定局は除いている。過去10年間、全局で環境基準（短期及び長期的評価）を達成している。

年度		(未達成局数/測定局数)									
年度		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一般環境大気測定局	長期	0/25	0/26	0/26	0/26	0/18	0/14	0/14	0/14	0/12	0/10
	短期	0/25	0/26	0/26	0/26	0/18	0/14	0/14	0/14	0/12	0/10
自動車排出ガス測定局	長期	0/28	0/27	0/26	0/24	0/25	0/27	0/27	0/27	0/28	0/10
	短期	0/28	0/27	0/26	0/24	0/25	0/27	0/27	0/27	0/28	0/28
全局	長期	0/53	0/53	0/52	0/50	0/43	0/41	0/41	0/41	0/40	0/28
	短期	0/53	0/53	0/52	0/50	0/43	0/41	0/41	0/41	0/40	0/38
全局の環境基準未達成率 (%)	長期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 光化学オキシダント (Ox)

表は、測定局数に対する環境基準未達成局数及びその割合を示す。移動測定局は除いている。平成元年度に1局のみ適合したが、その他の年度は依然全局不適合である。

年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
未達成局数/測定局数	47/48	50/50	50/50	51/51	51/51	51/51	53/53	53/53	54/54	56/56
環境基準未達成率 (%)	97.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100

注) 光化学オキシダントは、一般環境大気測定局のみである。

1. 4 環境基準適合状況（現存する測定局の年度推移）

(1) 二酸化窒素(NO₂)

一般環境大気測定局

年度		H元	H 2	H3	H 4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
No	測定局名										
1	川崎市公害監視C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	大師健康ランチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	田島健康ランチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	幸保健所	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
5	中原保健所	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
6	生活文化会館	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×
7	宮前区鷺沼プール	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
8	登戸小学校	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
9	麻生区弘法松公園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	鶴見区潮田交流プラザ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	鶴見区生麦小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	港北区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
13	神奈川区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14	西区平沼小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15	神奈川県庁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	中区加曾台	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
17	中区本牧	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×
18	南区横浜商業高校	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
19	港南区野庭中学校	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
20	磯子区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
21	金沢区長浜	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
22	戸塚区汲沢小学校	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
23	保土ヶ谷区桜丘高校	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×
24	旭区鶴ヶ峯小学校	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○
25	瀬谷区南瀬谷小学校	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
26	緑区三保小学校	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○
27	栄区犬山小学校	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
28	泉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	青葉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	都筑区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	横須賀市役所	○	×	×	○	×	×	○	○	○	×
32	横須賀市追浜行政C	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○
33	横須賀市久里浜行政C	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
34	横須賀市西部行政C	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
35	横須賀市衣笠行政C	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
36	三浦市三崎中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	逗子市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	鎌倉市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	藤沢市役所	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×
40	藤沢市湘南台文化C	—	×	×	○	×	×	○	○	×	○
41	藤沢市御所見小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
42	茅ヶ崎市役所	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
43	平塚市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	小田原市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	南足柄市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	秦野市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	伊勢原市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	厚木市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	大和市役所	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
50	海老名市役所	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	座間市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
52	綾瀬市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
53	相模原市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	相模原市相模台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	相模原市橋本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	愛川町角田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	津久井町中野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の○印は、環境基準に適合していることを示し、×印は、環境基準に不適合を示す。

自動車排出ガス測定局

年度		H元	H 2	H 3	H 4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
No	測定局名										
1	川崎市役所前	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	川崎区新川通り交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	川崎区池上新田公園前	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	幸区遠藤町交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	中原平和公園	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
6	高津区二子	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	宮前区馬絹交差点	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×
8	多摩区本村橋	—	—	—	—	—	○	○	×	×	×
9	麻生区柿生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	鶴見区下末吉小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	西区浅間下交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	港南中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13	磯子区滝頭	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×
14	戸塚区矢沢交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15	旭区都岡小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	青葉台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17	環境都筑工場前	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×
18	横須賀市小川町	—	—	—	—	—	×	×	×	○	×
19	新逗子駅前	—	—	—	—	○	×	○	○	○	○
20	鎌倉市滑川	—	○	×	○	×	×	○	○	○	○
21	藤沢橋	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×
22	茅ヶ崎駅前交差点	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
23	平塚市松原歩道橋	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
24	小田原市民会館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	秦野市本町	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
26	厚木市金田神社	—	—	—	—	×	×	×	○	×	×
27	大和市深見台交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28	相模原市上溝	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
29	相模原市淵野辺十字路	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30	伊勢原市谷戸岡公園	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×

注) 表中の○印は、環境基準に適合していることを示し、×印は、環境基準に不適合を示す。

(2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

一般環境大気測定局

年度		H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
No	測定局名										
1	川崎市公害監視C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	大師健康ランチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	田島健康ランチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	幸保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	中原保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	生活文化会館	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	宮前区鷺沼プール	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	登戸小学校	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
9	麻生区弘法松公園	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10	鶴見区潮田交流プラザ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	鶴見区生麦小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	港北区総合庁舎	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×
13	神奈川区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14	西区平沼小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15	神奈川県庁	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
16	中区加曽台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17	中区本牧	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
18	南区横浜商業高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	港南区野庭中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
20	磯子区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21	金沢区長浜	×	×	×	△	△	×	×	△	△	△
22	戸塚区汲沢小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23	保土ヶ谷区桜丘高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24	旭区鶴ヶ峯小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
25	瀬谷区南瀬谷小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
26	緑区三保小学校	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
27	栄区大山小学校	—	—	—	×	△	×	△	△	△	△
28	泉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
29	青葉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
30	都筑区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
31	横須賀市役所	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△
32	横須賀市追浜行政C	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△
33	横須賀市久里浜行政C	△	×	×	△	×	×	△	△	△	◎
34	横須賀市西行政C	—	×	×	×	×	×	◎	△	△	△
35	横須賀市衣笠行政C	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△
36	三浦市三崎中学校	△	×	×	×	△	×	△	△	△	△
37	逗子市役所	△	△	×	△	△	×	△	△	△	△
38	鎌倉市役所	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△
39	藤沢市役所	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△
40	藤沢市湘南台文化C	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41	藤沢市御所見小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
42	茅ヶ崎市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×
43	平塚市役所	×	×	×	△	△	×	△	△	△	△
44	小田原市役所	△	×	×	×	×	×	△	△	×	×
45	南足柄市役所	△	△	×	×	△	×	×	△	△	◎
46	秦野市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
47	伊勢原市役所	×	×	×	×	×	×	×	—	△	△
48	厚木市役所	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×
49	大和市役所	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△
50	海老名市役所	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
51	座間市役所	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	△
52	綾瀬市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
53	相模原市役所	×	×	×	×	×	△	△	◎	△	◎
54	相模原市相模台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
55	相模原市橋本	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
56	愛川町角田	△	×	×	×	×	△	×	×	×	△
57	津久井町中野	△	×	×	×	△	△	△	×	△	△

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価共に環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的評価は適合しているが、短期的評価が不適合を示す。なお、×印は、長期的評価及び短期的評価と共に不適合を示す。

自動車排出ガス測定局

No	年度 測定局名	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
1	川崎区池上新田公園前	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
2	中原平和公園	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
3	多摩区本村橋	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
4	鶴見区下末吉小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	西区浅間下交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	港南中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	磯子区滝頭	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×
8	戸塚区矢沢交差点	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	旭区都岡小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10	青葉台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	環境都筑工場前	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	横須賀市小川町	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×
13	新逗子駅前	—	—	—	—	△	△	△	△	△	△
14	鎌倉市滑川	—	×	×	×	△	△	△	△	△	△
15	藤沢橋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	茅ヶ崎駅前交差点	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×
17	平塚市松原歩道橋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
18	小田原市民会館	△	×	×	×	△	△	×	△	×	×
19	秦野市本町	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×
20	厚木市金田神社	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
21	大和市深見台交差点	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△
22	相模原市上溝	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23	相模原市淵野辺十字路	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×
24	伊勢原市谷戸岡公園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価共に環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的評価は適合しているが、短期的評価が不適合を示す。なお、×印は、長期的評価及び短期的評価と共にご不適合を示す。

(3) 二酸化硫黄 (SO₂)

一般環境大気測定局

No	測定局名	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
1	川崎市公害監視C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	大師健康ランチ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	田島健康ランチ	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎
4	幸保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
5	中原保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	生活文化会館	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	宮前区鷺沼プール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	登戸小学校	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9	麻生区弘法松公園	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	鶴見区潮田交流プラザ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
11	鶴見区生麦小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
12	港北区総合庁舎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	神奈川区総合庁舎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	西区平沼小学校	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15	神奈川県庁	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	中区加曽台	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎	◎
17	中区本牧	△	◎	◎	△	△	◎	◎	△	◎	◎
18	南区横浜商業高校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	港南区野庭中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	磯子区総合庁舎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
21	金沢区長浜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
22	戸塚区汲沢小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
23	保土ヶ谷区桜丘高校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	旭区鶴ヶ峯小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
25	瀬谷区南瀬谷小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
26	緑区三保小学校	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎
27	栄区犬山小学校	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
28	泉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎
29	青葉区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎
30	都筑区総合庁舎	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎
31	横須賀市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
32	横須賀市追浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
33	横須賀市久里浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
34	横須賀市西部行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
35	横須賀市衣笠行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
36	三浦市三崎中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
37	逗子市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
38	鎌倉市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
39	藤沢市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
40	藤沢市湘南台文化C	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
41	藤沢市御所見小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎
42	茅ヶ崎市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
43	平塚市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
44	小田原市役所	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
45	南足柄市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
46	秦野市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
47	伊勢原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
48	厚木市役所	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
49	大和市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
50	海老名市役所	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
51	座間市役所	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎
52	相模原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
53	相模原市相模台	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
54	相模原市橋本	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
55	愛川町角田	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
56	津久井町中野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価共に環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的に適合しているが、短期的評価が不適合を示す。

(4) 一酸化炭素(CO)

一般環境大気測定局

No	測定局名	年度	H元	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10
1	川崎市公害監視C		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	田島健康ランチ		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	生活文化会館		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	神奈川県庁		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	横須賀市役所		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	三浦市三崎中学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	藤沢市役所		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	藤沢市湘南台文化C		—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9	秦野市役所		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	相模原市役所		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

自動車排出ガス測定局

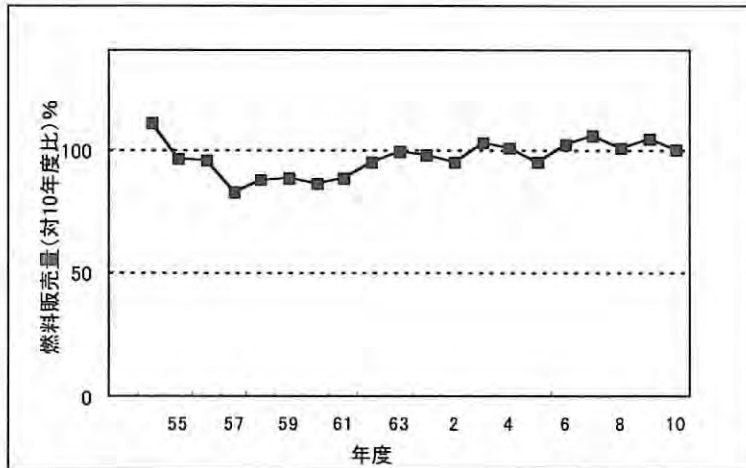
No	測定局名	年度	H元	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10
1	川崎市役所前		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	川崎区新川通り交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	川崎区池上新田公園前		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	幸区遠藤町交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	中原平和公園		—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	高津区二子		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	宮前区馬絹交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	多摩区本村橋		—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
9	麻生区柿生		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	鶴見区下末吉小学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
11	西区浅間下交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
12	港南中学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	戸塚区矢沢交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	旭区都岡小学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15	青葉台		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	横須賀市小川町		—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
17	新逗子駅前		—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18	鎌倉市滑川		—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	藤沢橋		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	茅ヶ崎駅前交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	平塚市松原歩道橋		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
22	小田原市民会館		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
23	秦野市本町		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	厚木市金田神社		—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
25	大和市深見台交差点		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
26	相模原市上溝		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
27	相模原市淵野辺十字路口		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
28	伊勢原市谷戸公園		—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価共に環境基準に適合していることを示す。
 ()内の印は、有効測定時間(6000時間)に達しなかった測定結果より求めたものである。

第2節 大気汚染に係る燃料油販売実績等の概況

(資料：神奈川県大気汚染調査研究報告第33報他)

2.1 燃料油販売実績の推移



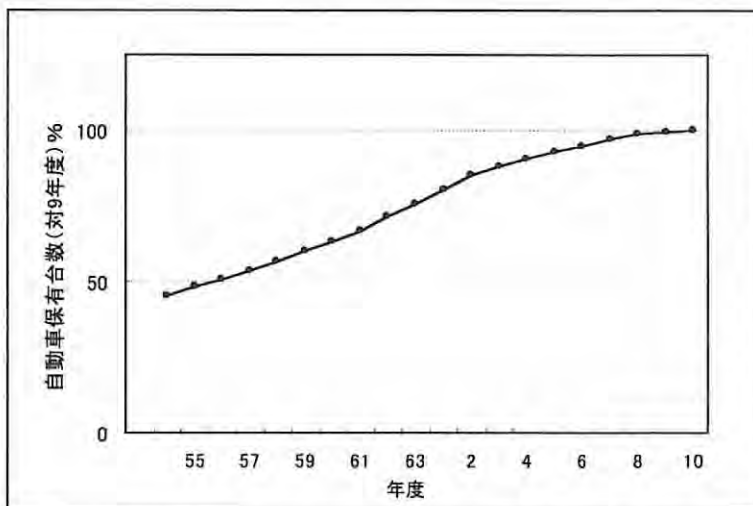
県内の燃料油販売実績は、前年度は増加に転じたが、今年度は前年度比約3.8%の減少となった。

なお、平成10年度の県内販売量は、 $14,014 \times 10^3$ k1であり、全国の6.1%を占めている。

(資料：石油連盟 石油資料月報)

図は、燃料油販売実績を平成10年度に対する割合で示す。なお、燃料油とは、ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油及び重油である。

2.2 自動車保有台数の推移



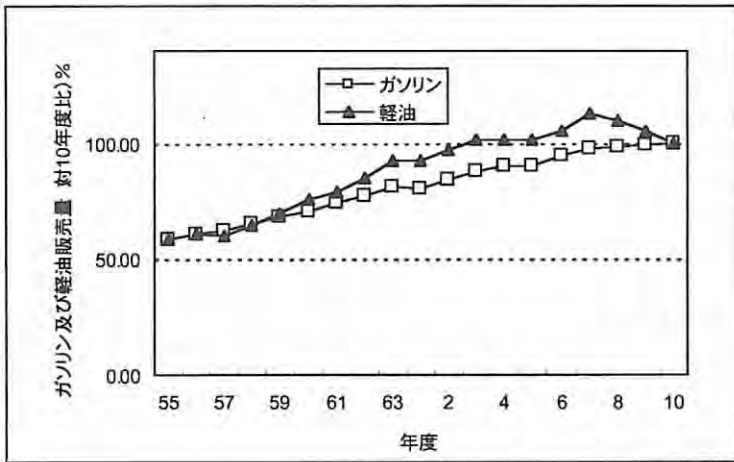
県内の自動車保有台数の推移を見ると、昭和54年度には約171万台(対10年度比45.1%)であり、その後、ほぼ毎年10万台前後の増加が続いていたが、平成10年度は約2万台の増加にとどまり、約380万台となっている。これは、全国の5.1%を占めている。

伸び率からみると平成10年度は前年度比0.6%増であった。

(資料：(財)自動車検査登録協会調べ)

図は、神奈川県内における自動車保有台数を平成10年度に対する割合で示す。

2. 3 ガソリン及び軽油販売実績の推移



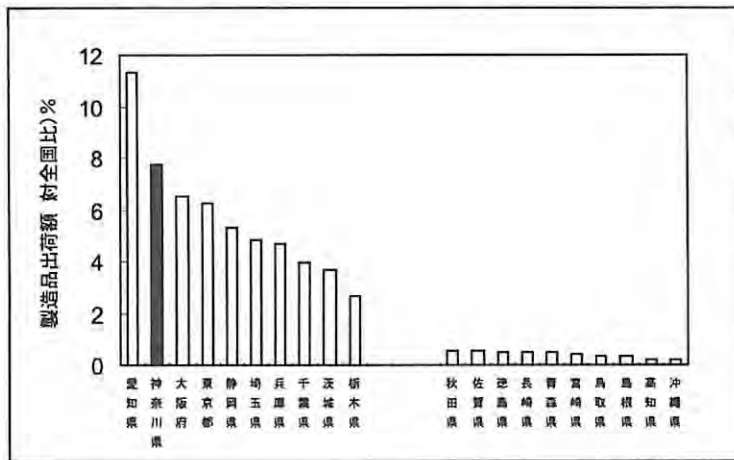
(資料：石油連盟 石油資料月報)

図は、県内におけるガソリン販売量及び軽油販売量を平成10年度に対する割合で示す。

県内のガソリンの販売実績は、増加傾向にあり、平成10年度は前年度比1.2%増加となった。一方、軽油の販売実績については、3年連続の減少となり、平成10年度は、前年度比5.1%の減少、ピークの平成7年度との対比では11%の減少となった。

なお、平成10年度の県内における販売量は、ガソリンが286万kl、軽油が183万klであり、それぞれ全国の5.1%、4.2%を占めている。

2. 4 都道府県比較による工業製造品出荷額等



(資料：通商産業省工業統計表)

図は、平成9年の各都道府県における工業製造品出荷額等を全国に対する割合で示す。

神奈川県における平成9年の工業製造品出荷額等は、24兆9,373億円で、愛知県の36兆6,595億円に次いで全国第2位にある。

全国の総出荷額は、323兆713億円であり、本県の占める割合はその7.7%にあたる。

2.5 大気汚染緊急時措置発令地域区分と対象工場数



光化学スモッグ注意報の発令は、県内を8地域に分けて実施している。緊急時措置対象工場は、県内に107工場あり、地域別の内訳は次のとおりとなっている。

横浜地域	31	工場
川崎地域	32	工場
横須賀地域	3	工場
湘南地域	16	工場
県央地域	18	工場
西湘地域	7	工場

なお、緊急時措置対象工場とは、燃料使用量が特に多い工場を一定の基準により選択したもので、「主要ばい煙排出者」ともいう。

図は、神奈川県における大気汚染緊急時措置の発令地域区分を示す。

2.6 ばい煙発生施設の設置状況（地区別）

(平成11年3月31日現在)

地区	施設数 (%)		工場数及び事業者数 (%)	
	施設数	(%)	工場数	(%)
横浜地区	3,327	(32.6)	1,278	(33.9)
川崎地区	1,766	(17.3)	582	(15.4)
横須賀・三浦地区	649	(6.4)	244	(6.5)
県央地区	1,802	(17.6)	755	(20.0)
湘南地区	1,818	(17.8)	525	(13.9)
足柄上地区	155	(1.5)	73	(1.9)
西湘地区	620	(6.1)	270	(7.2)
津久井地区	81	(0.8)	45	(1.2)
合計	10,218	(100)	3,772	(100)

下には、大気汚染防止法の規制対象施設であるばい煙発生施設が10,218ある。地区別にみると、横浜地区(3,327)が最も多く、次いで湘南地区(1,818)、県央地区(1,802)、川崎地区(1,766)の順となっている。

表は、県下各地区に設置されているばい煙発生施設及び工場、事業場の数を表す。

2.7 ばい煙発生施設の設置状況（種類別）

(平成11年3月31日現在)		
順位	機種	施設数
1	ボイラー	6,795
2	ディーゼル機関	1,168
3	金属加熱炉	539
4	ガスタービン	363
5	乾燥炉	326
6	廃棄物焼却炉	322
7	石油加熱炉	179
8	金属溶解炉	138
9	ガス機関	98
10	窯業炉	72
11	鉛蓄電池用溶解炉	52
12	反応炉等	44
13	塩素反応施設	40
14	ガス発生炉	23
15	電気炉	15
16	鉛溶解炉	10
17	触媒再生塔	8
18	硫黄燃焼炉	7
19	焼結炉等	6
20	溶鉱炉等	6
21	コークス炉	3
22	弗酸製造施設	2
23	カドミウム乾燥施設	2
	合 計	10,218

大気汚染防止法には32種類のばい煙発生が指定されているが、県下には23種類の施設が設置されている。そのうち66.5%がボイラー(6,795)であり、次いでディーゼル機関、金属加熱炉、ガスタービン、乾燥炉の順となっている。

表は、大気汚染防止法の規制対象となっている32種類の施設のうち、本県に設置されている23種類について種類ごとの設置施設数を示す。

第3節 気象概況

- 4月 月初めは高気圧におおわれて晴れる日もあったが、7日ころ低気圧が通過し雨となった。その後、関東南岸に前線や低気圧が停滞し、雨や曇りの日が多く、気温の高い日が続いた。
- 5月 関東南岸に前線や低気圧が停滞し、雨や曇りの日が多く気温の高い日が続いた。下旬には高気圧におおわれて晴れる日もあったが、24日に低気圧が通過し大雨となった。
- 6月 月の半ば頃まで関東南岸に前線や低気圧が停滞し、曇りや雨の日が多く、北東気流の流入もあり低温が続いた。月の末頃には前線が北上し気温がかなり高くなった。
- 7月 月の始めは晴れて気温の高い日が続いたが、中旬にはオホーツク海高気圧が張り出し、北東の冷たい気流の流入もあり低温の日が続いた。月の終わりには大気の状態が不安定な日が多く、22日と30日には雷雨となり大雨となった。30日は横浜で1時間降水量92mmを観測した。
- 8月 月間を通じて前線が北日本から関東にかけて停滞し、曇りや雨の日が続いた。27日夕方から30日には県西部の山沿いを中心に大雨となった。
- 9月 月の始めにはオホーツク海高気圧の影響を受け気温の低い日が続き、中旬からは前線の影響を受け曇りや雨の日が続いた。16日に台風第5号が県北西部を通過し、21日に台風第8号が、22日には台風7号と次々に近畿地方へ上陸し、これらの台風に伴い大雨となった。
- 10月 月間を通して関東の沿岸に前線が停滞し曇りや雨の日が多く、1日と17日には前線による大雨があった。気温は期間を通じて平年よりかなり高く、下旬に入り一時北日本を中心に冬型が強まり寒い日があった。
- 11月 月間を通じて雨が少なかった。月の前半は高気圧が北に偏り曇りの日が多く、後半は冬型の気圧配置となり晴れの日が続いた。5日には関東地方に「木枯らし1号」が吹いた。
- 12月 月初めに関東南岸に前線が停滞し、雨の日が続き3日夜にはみぞれとなった。その後は冬型の日が多く晴れの日が続いた。
- 1月 月の半ば過ぎまで冬型の気圧配置が多く晴れの日が続いた。下旬には関東の南岸を低気圧が通過し曇りや雨の日があり、気温はかなり高めとなった。
- 2月 期間と通じて晴れの日が多く、横浜で2月の日照時間が新記録となった。
- 3月 月の始めは高気圧におおわれ晴れたが、その後高気圧と低気圧が周期的に通過した。気温はかなり高かったが、降水量はやや多く日照時間はかなり少なかった。

